

令和元年度 政策づくり塾 第5回活動報告

9月6日(金)に第5回政策づくり塾を実施いたしました。今回の塾活動から各グループに分かれ、本格的に地域公共活動の実施に向けてグループワークが行われました。

窪田塾長のあいさつ

各グループで企画を考える際に必要なこととして、目的と手段をしっかりと考えてほしいとのことが述べられました。その企画をなぜ実施するのかについて考え、その目的を実施するための手段や目的を達成するために誰を対象とするのかについてメンバー同士で常に情報共有しながら取組を進めてほしいということが伝えられました。

講義「ファシリテーション講座」

京都府立大学 公共政策学部 博士課程3年生 池田 葉月 氏からグループワークをより有効的に進めていくために必要なファシリテーションについて講義いただきました。

- 目的:ファシリテーションがどのようなもので、どのように役立つのかを知る。
ファシリテーションの代表的な手法を知る。
- 内容:ファシリテーションの必要性、機能・役割、4つのスキル、具体的なツールとそれをどのように使うか。



▲講義の様子

グループワーク・発表

今回の塾から各グループの活動実施にむけたグループワークが本格的にスタートいたしました。それぞれの取組の実施目的やイベントを開催するにあたっての募集対象を誰にするかなど、活動の大枠を確認し、どのようなスケジュールで進めていくのが話し合われました。

【グループワークの内容】

1. ワクドキスポーツチャレンジ

- 実施時期:12月中旬または1月に実施予定
- 参加対象:小学生とその保護者
- 目的:様々な種類のスポーツを体験しその楽しさを伝えるとともにイベントを通した親子の交流を目指す。
- 実施概要:
 - 実施競技は市内にスポーツ団体があるものを優先するが、マイナースポーツにおいても道具の展示等を行うことで多くの競技にふれてもらう。
- 次回までに行うこと
 - 他市における類似事例の調査
 - 市内のスポーツ団体の確認とイベント実施場所の候補をあげる。
 - イベント開催の周知と参加者募集の方法の決定。
- 塾長からのアドバイス
 - なぜ「スポーツ」をテーマとした体験会にしようと思ったのかを明確にすること。

2. みらい会議(仮)

- 実施時期:11月から1月の間に開催予定
- 参加対象:市内の高校に通っている高校生(学科、専門分野不問)、まちで活躍する若い世代
- 目的:
 - 高校生にまちづくりや行政の取り組みに興味をもってもらう。
 - 現在のまちのリーダーと未来のまちのリーダーが交流することで、今までにない、新たなまちの活性化につながる機会とする。
- 実施概要:
 - 交流の方法として、誰もが親しみやすいゲーム方式を用い、気軽にまちのことについて情報共有できる機会とする。
- 次回までに行うこと
 - ゲームの内容について具体的な案を考える。
 - 「まちで活躍する若い世代」とは何歳くらいでどのような職業の方なのかを定める。
 - 募集人数が少なかった場合、どのように人数を確保するのかを考える。
- 塾長からのアドバイス
 - ゲームの内容が決定次第、実際にメンバー、個人で試してみること。
 - 舞鶴市での生活を想像でき、かつ気軽に話をしたり情報共有できるゲーム内容になるよう検討すること。



▲グループワークの様子